

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結してたたかおう。 期間雇用社員の希望者全員の正社員化を。 めいせ、均等待遇、ななくそう差別！ ユニオンは労基法裁判に勝利するぞー！

「中央交渉速報」 19春闘報告 NO. 2

第3回賃金交渉を開催 業績好調も消極姿勢を崩さない会社に 数字を示して批判と反論を行う!!

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 3938
19年3月12日(火)
Tel/Fax 095-828-1953

おはようございます。
3月6日(水)、郵政ユニオン中央本部は日本郵政本社において「第3回賃金交渉」を開催しました。

会社から、要求書に対する現時点での検討状況について説明があり、本部は質疑を行うとともに、情報が提供されている「扶養手当の見直し」と「65歳定年制」について、組合としての基本的なスタンスを主張しました。

処遇改善

会社はまず「処遇改善」要求に対して「第3四半期決算は郵便・物流部門が好調で上方修正はしたものの、対前年度比は依然としてマイナスである」。「金融部門でもマイナス金利の影響が続き、投資信託の好調でもカバーしきれない」とし、「人件費の高止まり」とあわせ、「足元の経営環境は本年度も厳しい」とコメントしました。
正社員の賃金引き上げに関しては、労契法20条裁判などで否定された「長期インセンティブ」に固執し、「社会情勢を見ながら」という消極的な姿勢に変化はありませんでした。

均等待遇要求

「均等待遇要求」に対しては、「職務の内容、責任の度合い、転勤の有無」などを挙げて、正社員と非正規



社員を「一律同じにはできない」と、例年同様の変化のない発言を繰り返しました。一方で同一労働同一賃金の法制化に従い、ガイドラインに沿った見直し改善を図っていく、と付け加えました。

要員不足・大幅増員

「要員不足、長時間労働は正」の要求に対しても、要員確保に努める、としながらも具体的施策に言及はありませんでした。

ユニオンの反論

これに対し本部は、要員問題に対して、会社のデータを示しながら、昨年に比べて社員数が減少しており、要員不足解消に向けた努力の跡が見られないと提起。ゆうパックが対前年同期比

減少とする会社コメントに対しては、民間宅配の値上げなど昨年度は特異な実態があったと指摘し、「あれだけの頑張りは何だったのか、社員に應える姿勢になっていない」と主張しました。

正社員登用問題では、WEB試験は問題があり廃止を要求しているが、「対応しきれずスキルが活かしきれない実態になっている。柔軟な対策を作る必要がある」と主張、「登用率も過去数年、25%ないし30%で推移している、意図的



はないか。10万人正社員化にそぐわない」と批判しました。
このほか、扶養手当見直し、定年制延長について、組合としての基本的なスタンスを述べ、次回交渉以降、今春闘ゾーンで出来る限りの議論を深めたい、とし、今回の交渉を終えました。

スト権確立 争議行為準備に 入ると通告

併せて、郵政ユニオンは、スト権一票投票の結果、77.86%の高批准率で19春闘でのスト権を確立し、争議行為についての準備に入ったことを通告して交渉を終えました。

春闘ストライキ準備指令

中央闘争委員会は3月2日、19年春闘に向けたストライキ批准一票投票を77.86%の高批准で「ストライキ権」を確立しました。

「19春闘勝利！非正規社員の均等待遇と正社員化を求める院内集会」には、全国から多くの非正規の仲間が参加し、同じ仕事をしながら正社員との間に大きな待遇格差があること、生活できる賃金を求める声など、処遇改善に向けた切実な要求が語られました。

2019春闘では郵政で働くすべての労働者の大幅賃上げと合わせて、東西20条裁判での地裁判決の勝利を受けて、同一労働同一賃金を柱とした均等待遇が大きな課題となっています。

本部は中央交渉を強化するとともに、19春闘の具体的な戦術の行使を以下の通り決定しました。地本・支部は、「ストライキ準備体制」を確立するよう要請します。

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-御手洗、2集-向井、3集-山田、郵便-山口、ゆうちょ銀-上筋、他支部・分会の役員へ。